

令和6年度学校評価結果について

高岡市立南星中学校

学校教育活動の状況や成果を検証し、改善を行うため、保護者の方と生徒の皆さんに、アンケート調査を行いました。調査結果等から、主に以下のことについて振り返り、次年度の学校運営に生かしていきたいと考えています。

達成目標（重点）としていた項目

	項目	目標値	自己評価結果（※）
①	自分から挨拶や返事をする生徒（進んで挨拶）	90%以上	93%
②	学校に活躍の場や認められる機会があると答える生徒	90%以上	85%

（※「よくあてはまる」「まあまああてはまる」と答えた生徒の割合）

- ① 「進んで挨拶をしている」と答えた生徒が93%となり、目標値（90%以上）を超える結果となりました。保護者の評価結果も比較的高く（85%）、生徒会のあいさつ運動等の実施や生徒への意識づけ、教職員全体でベクトルをそろえて取り組んだ結果であると思います。
- ② 「学校に活躍の場や認められる機会がある」と答えた生徒は85%であり、目標値（90%以上）には届きませんでした。次年度は、これまで以上に、授業や生徒会活動、学校行事等において、生徒が所属感や連帯感、達成感が味わえる機会を設けていきたいと考えています。

その他の項目

■改善が必要と思われる事項

「進んで家庭学習に取り組んでいる」と答えた生徒が71%でした。

（・よくあてはまる 28%
・ややあてはまる 43%） 計71%

学力の向上を図るためには、学校での授業に加え、学校で学んだ内容を定着させたり、深めたりするための家庭学習の充実が大切であると考えます。

また、家庭学習を充実させることは、学力向上に繋がるだけでなく、生涯にわたって学び続ける態度の育成や基本的な生活習慣の確立、自己決定できる子供の育成にも結び付くと思います。

■保護者アンケートより

子供に身に付けさせたいことで、家庭で特に力を入れて指導していることや願いとしている保護者が多い反面、学校でよく指導できていると答えた保護者が少ない項目は、主に以下の2点でした。

・人に迷惑をかけない
・思いやり

いずれも他者とのかかわりに関する事柄でした。

他人との好ましい人間関係づくりや思いやりの心、協力、協調性等の向上について、様々な教育活動にて重きを置き、取り組んでいきたいと思っています。